

Kurashiki Hospital 倉敷仁風ホスピタル



古代ローマでは、巡礼や参拝者、旅人をもてなす大きな家があったそうです。
長い旅で受けた傷や病を癒すその大きな家を、中世ラテン語で「ホスピターレ」と言いました。
心身ともにリフレッシュして新しい旅に出発する、そういうホスピターレのおもてなしを私たちも目指しています。



○ デイケア ○



心やすらぐホスピタル、 早期の社会復帰へ。

緑と明るい空間が安らぎを与えてくれる
敷地内には多くの緑と花をとり入れ、ホスピタル内で四季を感じていただけるように配慮しています。大きな吹き抜けをホスピタルの中央に配しています。患者様の心にも広がりをもたせてくれるでしょう。癒しの和室を各階に設け、6階には屋上庭園をつくり人と環境にやさしいホスピタルを実現しました。



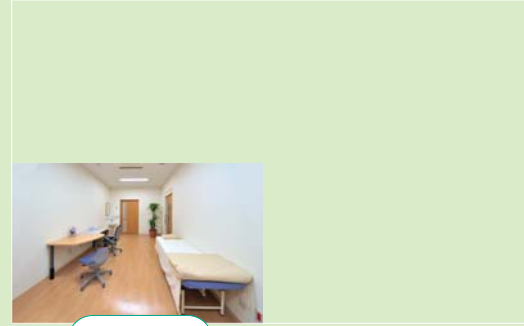
○ 明るい空間へのさまざまな工夫が施されています。 ○



○ もみじで彩られる中庭庭園 ○

ゆったりとした個室型多床室
病室は患者様お一人ずつに窓が設けられ外が見えるようにベッドが配備されています。二人室や多床室でも、明るく開放的な部屋づくりの中にもプライバシーに配慮した個室型多床室は、県内の施設としては唯一です（平成20年2月現在）。また、一般では医療法で定められた一人あたり6.4㎡での部屋作りが多い中、倉敷仁風ホスピタルでは8㎡を確保しています。

心のかかりつけ医を目指して
一日も早い退院、社会復帰が患者様と私たち共通の願いであり、退院支援が私たちの使命であると心得ています。そして、回復後もデイケア、訪問看護、在宅支援などを通じて皆さまのサポートをしております。また、退院後も安心して社会復帰していただけるよう、ホスピタルのすぐそばに3階建て17室のワンルームアパート※1も用意させていただいております。



○ 診察室 ○

安全性に優れた施設
全館の床はクッションフロアで、病棟は完全回廊式になっています。また、浴室は床暖房をとり入れ、最新設備を導入した厨房を含む施設すべてがオール電化、安全かつ環境にも配慮したホスピタルです。

チーム医療～ホスピタルの総合力
療養中は作業療法・精神療法・生活技能訓練（SST: Social Skills Training）・断酒会・退院促進プログラムなどの治療をしています。医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・薬剤師・栄養士が力をあわせ、ホスピタルの総合力をもって患者様の生活を主体に考えたケアをしています。



○ ゆったりと明るい安らぎのデイルーム。 ○

ご家族や地域のボランティアと手を携えて…
これからの取り組みはご家族の方や地域のボランティアの方々とも手を携えていかねばならないと考えています。講義や話し合いのなかから、病気についての正しい知識と家族としての関わり方を覚え、病気に対する誤った不安や心配を取り除きます。そうすることにより、希望を持って患者様を援助していくエネルギーが生まれます。

地域の実習指定病院として
ハード面や人材育成の整備を通じて地域貢献もしています。当ホスピタルは実習指定病院であり、研修施設として研修医、看護師や精神保健福祉士・作業療法士を受け入れています。さらには音楽療法の研修施設としても指定され、最新設備や優れた技術力の証になっています。



○ ※1 3階建て17室ワンルームアパート ○

